

### 事例3

## 間伐材で工作と森林保全をしよう！

内容	間伐材を材料にした木工工作を行い、人工林と自然林の違いや間伐の必要性について解説する。
ねらい	間伐材を材料にしたものづくりを通して、木の良さを知り、自然との関わりを感じる。森林の役割や国産の木材を利用する事が森林保全につながる事を学び、環境保全について考える。また、加工に必要な道具の安全な使い方を学ぶ。
学習効果	自然との関わりへの気づき、環境への配慮、想像して考える、創意工夫
関連教科	社会、図工
対象学年	小学校5年生
対象人数	1クラス(40人程度)まで、6人程度のグループ分け(道具を共有)
場所	体育館、工作室、教室など
時期	通年
進め方	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人工林と自然林、間伐についてのクイズや説明を行う。</li> <li>2. 間伐材を使った木工工作について、作業の方法、道具の使い方についての説明を行う。</li> <li>3. グループ毎に協力しながら作業を進める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノコギリで切る。</li> <li>・紙ヤスリや金ヤスリで磨く。</li> <li>・絵を描く。 など</li> </ul> </li> <li>4. 片付け・掃除を行う。</li> <li>5. 作品作りの感想や作品について発表する。</li> </ol>

<p><b>ポイント</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間伐とは何か、図を使って分かりやすく解説する。</li> <li>・ドリルや木槌など、道具の使い方や注意点など安全教育を徹底する。</li> <li>・班で協力して作業を行う。</li> <li>・危険な道具を使う際は必ず大人が指導する。</li> <li>・工作でつくる作品は、児童が身近に使えるものにする。</li> <li>・道具は作品作りに適したものを準備し、待ち時間が無いように十分な数を用意する。</li> </ul>
<p><b>道具・材料</b></p>	<p>児童持ち物:軍手 準備物:ノコギリ、紙ヤスリ、金ヤスリ、ブルーシート、作業台、説明用の図など</p>
<p><b>所要時間</b></p>	<p>約2時間</p>
<p><b>経費</b></p>	<p>講師料 5,000円／1回×1人 ※児童数によって講師の人数が変わります。 交通費 30円／キロ 材料費 250円／1人</p>
<p><b>森のせんせい 氏名・団体名</b></p>	<p>NPO法人大杉谷自然学校（担当:池田直代）</p>
<p><b>住所</b></p>	<p>多気郡大台町久豆199</p>
<p><b>連絡先</b></p>	<p>TEL 0598-78-8888</p>

